Ｍｒ.エマージェンシーコール取扱説明書

○設置の仕方

１．エマージェンシーコールをきちんとした場所に固定。
２．携帯電話をつないでホルダーに設置（このとき携帯電話のスイッチは入・切どちらでも OK）
３．バッテリーを繋いで入れる（ソーラーパネル設置、接続）
４．電気柵にジョイントクランプで本体から出ているアンダーグラウンドケーブルを接続。
５．電気柵に通電し、内部のフェンスアラート（緑色）のスイッチ（黄色）を入れる。（感度の高い２に設定）
６．本体の中の通報部分（Whitelock110D）のスイッチを入れる。
これで待機状態になります。かならず携帯電話は最初充電状態になりますので、バッテリーの消耗を防ぐため、できれば携帯電話を満充電にしてから接続してください。
７．内部の感度ダイヤルは　**低**　で約 3000V 以下になると通報します。（フェンスアラートのスイッチを１に設定した場合は約 1500V 以下）　**高**　に近づけると感度を高くすることが出来ます。

○電気柵に異常があった場合

電圧低下など異常があると、Ｍｒ.エマージェンシーコールに内蔵された携帯電話から設定した通報先へ着信があります。

１．着信があった場合は、電気柵を点検し異常を確認してください。一時的な電圧低下や電気柵本体の電源が切れているなど異常はさまざまです。
２．異常があり Ｍｒ.エマージェンシーコールが通報した場合は、感知状態になります。再度待機状態にするには、通報部分（Whitelock110D）電源が入っている状態でリセットスイッチを押して下さい。これで待機状態になり、再度異常があった場合に通報します。

ご注意：リセットスイッチを押さないと感知状態の解除ができませんので再度電気柵の電圧が落ちても検知しません。検知していると通報部の１の LED が赤く点灯しています。リセットスイッチを押すと消灯します。

○作動確認テストの仕方

１．電気柵の電源を切ります。
２．フェンスアラートが点滅し、通報が始まります。
３．通報を確認し異常がなければ、電気柵の電源を入れフェンスアラートの消灯を確認して下さい。
４．リセットスイッチを押して、感知状態を解除します。これで待機状態に戻ります。

○日常点検について

１～２日に１度は電気柵、Ｍｒ.エマージェンシーコールの巡回点検を行い、異常が無いか確認してください。
バッテリー上がりや電池切れは、Ｍｒ.エマージェンシーコールにとって致命傷です。バッテリーやフェンスアラートの電池は３年に１度交換して下さい。

ファームエイジ株式会社
北海道石狩郡当別町字金沢166 Tel.(0133)22-3060 Fax.(0133)22-3013
ホームページ　http://www.farmage.co.jp　Ｅメール　info@farmage.co.jp
フリーダイヤル　エイジで　良い柵を
0120-82-4390
携帯・PHS OK
※携帯・PHSからもご利用になれます